

市町連だより

しょうわん



第34号

平成26年1月1日

発行責任者

千歳市町内会連合会

会長 沼田常好

千歳市東雲町1丁目11番地

千歳市社会福祉協議会(2F)

TEL.0123-49-7100

FAX.0123-49-7300

印刷

(株)フロンティアエージェンシー

平成25年度

町連要望書に対する回答説明会の開催

11月8日(金)、ANAクラウンプラザホテルにおいて「平成25年度千歳市町内会連合会要望書に対する回答説明会」を開催しました。説明会には、千歳市から山口市長をはじめ部・課長等17名、市町連からは沼田会長以下71名が出席しました。

今年度は、8月26日から30日にかけてブロック会議を設定し、ブロックごとに提出した要望事項(案)について市関係者と意見を交換して訂正・修正を加え、ブロックの要望事項として再提出して頂きました。総務広報部会・事務局は、再提出された要望事項を取りまとめ、10月7日(月)に市町連として「平成25年度要望事項」を市に提出しました。各ブロックからの個別要望は項目をまとめて別冊「平成25年度千歳市町内会連合会要望書資料」として添付しました。回答説明会は、沼田市町連会長の挨拶・議長選出の後、要望書の



7項目12件について一問一答形式で市の担当部長から回答を受けました。

特に、町内会活動に対する支援については、町内会活動に関わる窓口及び財源を市町連に一元化することによる活動体制強化の支援について回答がありました。具体的には、コミュニティセンター施設管理業務を市町連に委託することや、コミ協連の事務局職員と社会福祉協議会が雇用する市町連担当事務局員を、市町連事務局員とすることによる事務局体制の強化であり、26年度の実施を目指し関係団体との速やかな調整が進められます。市町連としても十分な準備と迅速な対応が必要となります。

総務広報部会長
井上 英幸

新年を迎えて



千歳市町内会連合会
会長 沼田 常好

明けましておめでとうございます。

昨年は、各般に亘り会員皆様のご協力、ご示唆を賜りありがとうございました。

おかげをもちまして平成25年度事業も概ね終わろうとしています。

11月8日、恒例の市町連要望書に対する市からの回答を頂きました。特に、「町内会活動に対する支援要望」に対して、「コミュニティセンターの管理業務を市町連に委託して町内会活動窓口を一元化すると共に住民組織の二重化を解消すること、これに伴い事務局体制を強化する」と具体的な回答がありました。

市町連とコミ協連の一体化については過去何度か話題になり頓挫した経緯がありますが、今回、市が決断し方向を定めて頂いたことを市町連として歓迎するとともに大きな責任を感じています。

新年度からの施行を目指して、コミ協連との連携を密にし、市町連としての準備体制を整えて参りますので会員皆様のご支持、ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって素晴らしい年でありますようお祈りいたします。



安全環境部会

安全環境部会長 中川 勝美

平成25年度重点項目の一つ「資源回収の新システムに係わる情報の収集」として7月から8月に掛け、145町内会に対して「新集団資源回収実態調査」を実施しました。

調査は、回収方法、売上代金の支払方法、買取価格、回収時における町内会の立会の有無、積み込みの支援についてのアンケート調査と新集団資源回収についての課題や要望事項の自由記載としました。新集団資源回収システムに参加している117町内会から回答があり、回収率は76.9%でした。

「新集団資源回収における課題や要望事項」の項目では、多くの町内会から多様な意見が寄せられ、各町内会の関心の高さが伺えました。

11月に、各町内会からの意見・要望等を取りまとめ公表しました。また、奨励金の増額等については平成26年度の市に対する要望として提出を検討しています。

安全環境部会は、今後もこのシステムがより良いものとなるように取り組んでいきます。

部会活動報告

ふれあいサロンの取り組み

福祉青少年部会長 藤木 邦啓

9月6日 千歳市総合社会福祉センターにおいて「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためにふれあいサロンで身近な地域のつながりを」とをテーマに福祉部長等と社会福祉協議会との合同研修会を開催しました。

参加者が150名を越え会場が満杯となる盛況で、川本俊憲氏の講演「ふれあいサロンで身近な地域のつながりを」を拝聴した後、柏陽町内会伊藤会長、自由が丘町内会氏家会長、旭ヶ丘町内会山口副会長の3名から「私の地域のふれあいサロンの取り組み」と題して実践結果の発表がありました。続いて「ふれあいサロンメニュー体験」の実技講習が行われ本場に中身の濃い研修会となりました。

現在、市町連では50の町内会が「ふれあいサロン」の取り組みを行っています。いずれの町内会も参加し易いサロンにするため、それぞれ創意工夫を凝らしているようです。参加する方は、まず「参加してみる」として「ふれあいこと」が大切です。

「二人暮らしで話し相手がない、孤独だ」と言わば、こことをしばしば耳にし

ますが、サロン活動は良い機会です。出ない精にならずに進んで参加されてはどうでしょう。

青少年部長等の研修会を2月に計画しています。多数のご参加をお願いいたします。



女性部会

女性部会長 岩井 和江

11月22日千歳市総合福祉センター402号室において53町内会112名の女性部長等が参加して「秋季研修会」を行いました。

今回の研修会は、生活情報誌「ちゃん」と社長の羽生有三氏に講演をお願いしました。

「ちゃん」は千歳市の全世帯に無料で配布され、おおいに活用しております。

講演では、このような会社を設立されたいきさつを語って頂きました。

社長は、「以前から事業を展開するのなら『生活情報誌』と着目し、諸状況から情報誌発行に一番適している地域は千歳・恵庭であると判断して期が熟するのを待っていました。8年前に『不景気の中だからこそ今がチャンス！』と①地域企業の活性化 ②雇用の確保 を柱に、社員と共に赤字覚悟で取り組み『耐えて踏ん張れば骨太の会社になれる』を信念として、日本で一番良い素敵な情報誌を発刊する会社を立ち上げた」と話されました。

「ちゃん」の わんにゃん救援隊コーナーは、捨てられた動物を紹介して新たな飼い主を捜すことにより

動物たちの命を救おうとの思いで掲載を続けていますが、パーフェクトに飼い主が見つかり引き取られて行く動物を見るのが何よりも嬉しい、等ユーモアを交えながらのお話でした。

講演後の質疑では、「タイトルのちゃんとの由来は？」「町内会行事の紹介は掲載していただけるか？」等皆さん「ちゃん」と誌をよく読んでいることが伺える活発な質問がありました。ご参加の皆様ありがとうございました。

7月の「町内会女性部長会議」、6月、10月の「大掃除ボランティア活動」に参加頂いた多数の皆様方にも感謝いたします。



新生

「みどり台北町内会」

平成25年10月27日、みどり台北町内会が誕生し、146番目の町内会として市町連に加入いたしました。

みどり台北は長都川の北側に位置し、みどり台北1丁目から5丁目の区域に248世帯748人(11月1日現在)が住んでいます。

平成25年3月、「おさつ駅みどり台土地区画整理組合」の解散に伴い、防犯灯やゴミステーション等の管理について市関係部署と住民説明会を開催するなかで町内会の必要性を感じ、同年6月町内会設立に向けた準備委員会を立ち上げました。

地域住民に呼び掛けながら計6回の準備委員会を開き、町内会規約(案)や事業計画(案)を策定し、設立総会の開催にいたしました。

設立総会は、沼田市町連会長のご臨席のもと64世帯の発起者が参加し、町内会規約、住みよいまちづくりに向けた事業計画が承認され、「みどり台北町内会」の誕生が宣言されました。

町内会加入率は96%に達し、30代、40代を中核とする若い世帯の多い町内会です。

交通安全や環境衛生、防犯・防災など安全・安心して暮らせる地域づくりに向けて取り組むべき課題は多いですが、住民みんなが協力して「住んで良かった」と思える町内会を目指して進んでまいります。



みどり台北町内会

町内会長 村井 康樹

北斗北町内会

町内会長 近 藤 久 雄

北斗北町内会30周年記念祝賀会

昭和58年、朝日町・青葉丘地区に住んでいた人達が、千歳空港の24時間官民供用による騒音公害を避け、安心・安全な地域として造成されたこの地「北斗」に移転し、遅しく心豊かな町の育成を願い北斗北町内会が創設されました。

昭和60年に街並みができあがり、戸数125戸約400人が住む街となりました。町内会規約等を策定し、昭和61年に待望の町内会館の落成を迎えるに至りました。町内会の体制も整い徐々に戸数・人口も増え只今は、163戸約420名が住む環境の良い街に成りました。

平成25年10月6日、ベルクラシック千歳において来賓多数のご臨席を賜り「北斗北町内会30周年記念祝賀会」を開催いたしました。



ました。歴代町内会長・役員、発足当時からお住まいの方々約70名が集い、往時の町内会事業・出来事等の思い出話に30年の町内の歩みを振り返ることができました。式辞・祝辞、乾杯に続き、アトラクションでは「北斗中学校音楽部のリコーダ演奏」と梅后流江戸芸かつばれ・桜川梅有社中の皆さんによる「ヨッ！太鼓持ち」等の演目で会が盛り上がりました。

30周年行事を通して自分たちの住む町内会の歴史と町内会組織の大切さを再認識し、今後も住み良い町内会づくり頑張っていく思いを新たにいたしました。

大勢の方々からご協力を頂きありがとうございました。

里美町内会発足30周年記念式典開催

里美町内会は、昭和59年1月に20世帯で発足し、歴代会長・役員、住民の方々のボランティア精神溢れた積極的な活動により基礎を固め、現在は向陽台住宅地の中心部に位置する350世帯を越える町内会に発展し、おかげさまで昨年発足30周年を迎えました。

平成25年8月4日、里美町内会館において、山口千歳市長、沼田市町連会長、向陽台各町内会長等多数のご臨席を賜り、恒例の夏祭りとして「里美町内会発足30周年記念式典」を同時に開催しました。約200名の会員が参



加し焼き肉・各種屋台・子どもゲーム等を楽しみ、当日は自衛隊の航空祭と重なりあたたかも私たちを祝うかのようにブルー・インパルスの編隊が飛び交い、多くの歓声があがり30周年記念に相応しい式典になりました。式典後、「里美町内会30周年記念誌」と「記念品」を全会員に配布しました。

今後、シニアの方々には健康長寿で活動して頂くとともに若い世代との交流を更に深め、みんなで協力してより安心で安全な住み易い町内会を目指して行く所存です。

事務局からのお知らせ

8月に千歳市を転出した方から、町内会館等で使用して頂きたいと、自宅で使用していた座布団(白いカバー付き)約30枚が寄贈されました。希望される町内会にお譲りしたいと思えます。

希望される町内会は、市町連事務局までご連絡ください。(早い者勝ちになります)

市町連事務局

電話番号 49-71100

(天野)

里美町内会

町内会長 岡 田 正 行